

EWA 社 Blackhawk 560m TI 社 Code Composer Studio 用ドライバ インストールガイド

第 24a 版 2013.7



ROINOS

複製禁止

株式会社 ロイノス DSP 開発ツール

Tel 053-762-3681 Fax 053-762-3682

URL : www.roinos.com Email : tool@roinos.com

目次

1. まえがき	1	8. Blackhawk560m の認識	8
2. システム要件	1	8.1 Windows xp,2000	8
3. 取り扱い上の注意事項と保証期間	1	8.2 Windows 7	9
4. 梱包内容	2	9. CCS セットアップに関する役立つ知識	9
5. Code Composer Studio インストール	3	9.1 GEL の利用 (CCS Ver3.x 対応のため)	9
5.1 CCS Ver4 あるいは Ver 5 の場合	3	9.2 DSK、eZdsp 用のパッチ	10
5.2 CCS Ver4.1,4.2 の場合	4	10. Setup CCS の設定	10
5.3 CCS Ver3.x の場合	4	10.1 CCS Ver3.x の例	10
6. デバイスドライバのインストール	6	10.2 CCS Setup の import で設定をする方法 (Ver3.x)	12
6.1 CCS Ver4 あるいは Ver5 の場合	6	11. 汎用的ボードの具体的設定(CCS3.3 の例)	12
6.2 CCS Ver3.x の場合	6	11.1 DSK C6713 の場合	12
6.3 ロイノス編集 CD の場合	7	11.2 DSK C6416 の場合	12
7. Blackhawk560m の準備	8	11.3 EVM DM642 の場合	13
7.1 JTAG アダプタの準備	8	11.4 EVM 6201 / 6701 の場合	13
7.2 機器の準備	8		

11.5 DSK C5416 の場合	14
11.6 DSK C5510 の場合	14
11.7 SR-MK2 の場合	14
11.8 eZdsp F2812 の場合	15
11.9 eZdsp F2808 の場合	15
11.10 eZdsp LF2407 の場合	15
11.11 eZdspF28335 の場合	16
11.12 OMAP5912 OSK の場合	16
11.13 EVM DM6437 の場合	17
11.14 DSK C6455 の場合	18
11.15 EVM DM6446 の場合	18
11.16 C672x の場合(EVM 6727 の例)	19
11.17 EVM DM355 の場合	19
11.18 OMAP3530 の場合	20
12. 汎用的ボードの具体的設定(CCS3.1 の例)	21
12.1 DSK C6713 の場合	21
12.2 DSK C6416 の場合	21
12.3 EVM DM642 の場合	21
12.4 EVM 6201 / 6701 の場合	21
12.5 DSK C5416 の場合	21
12.6 DSK C5510 の場合	21
12.7 eZdsp F2812 の場合	21
12.8 eZdsp F2808 の場合	21
12.9 eZdsp LF2407 の場合	21
12.10 OMAP5912 OSK の場合	21
12.11 C672x の場合(EVM 6727 の例)	21
13. CCS Ver4 あるいは Ver5 の場合の設定方法	22
13.1 CCS のインストール	22
13.2 デバイスドライバについて	22
13.3 Blackhawk の認識	22
13.4 Target Configuration	23
13.5 接続について	24
14. 補足説明	25
14.1 JTAG コネクタの形状が合わない	25
14.2 JTAG クロック周波数可変機能	25
14.3 エミュレータのリセット	25
15. 故障対応	26

1. まえがき

EWA 社エミュレーションシステムとテキサス・インスツルメンツ社 Code Composer Studio を組み合わせて使用することで実機のエミュレーションを行うことができます。テキサス・インスツルメンツ社の TMS320 ファミリーをサポートしています。

システムの特徴は次の通りです。

- ▲ C6000,C5000,C2000,OMAP,DaVinci,ARM のエミュレーション。
- ▲ USB 1.0, 1.1 , USB2.0 ポートでの使用
- ▲ 1V から 5V までのターゲット I/O 電圧に自動対応
- ▲ 最適な JTAG クロック周波数の自動選択

本書では Code Composer Studio を CCS、テキサス・インスツルメンツ社を TI と称する場合があります。

2. システム要件

本書は、EWA 社のエミュレータ Blackhawk560m と TI の CCS、JTAG 接続の DSP ターゲットボードを使用する方を主な対象としています。ホストパソコンに必要な条件は次の通りです。

- ▲ CCS Ver2.2 以降、Ver3.x、Ver4.x
(本書には Ver2.2 に関する解説は記述されていません、必要な場合は旧版のマニュアルをご覧ください。サポート契約中のユーザー様には無償でお送りします。)
- ▲ Windows 7/ Vista / xp / 2000 / 98 / Me
Me や 98 をサポートしていない CCS のバージョンもありますので CCS の仕様をご確認ください。
- ▲ USB2.0 ポート(USB 1 可) 1 個
Blackhawk560m は USB2 のインターフェイスを持ちます。USB1.1 の端子に接続しても十分な性能でご利用いただけます。

3. 取り扱い上の注意事項と保証期間

製品は、実用性を踏まえつつ設計されておりますが、機構上長期間に渡る機械的負荷で損傷を受ける個所がございます。製品を長期にわたって安心してお使いいただけますよう、製品には**機械的衝撃を与えない、ケーブル部に機械的応力(張力、荷重、ねじれ力)をかけない**ようお願いいたします。

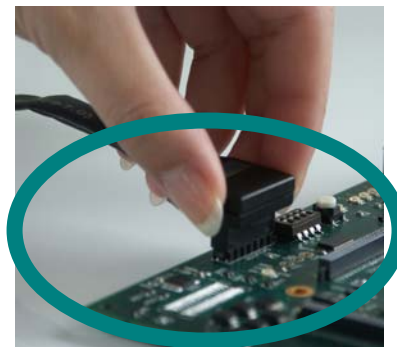
ターゲットの電源とホスト PC の電源はできるだけ近くからとり、フレームグラウンドの電位差が発生しないようにして下さい。電位差がある状態で JTAG の端子を挿抜しますと、機器が破壊されるおそれがあります。また、大電流を扱う機器、力率の悪い機器と AC を共用する環境では、

フレームグラウンドの電位差による**循環電流を流さない**ようにホストパソコンとターゲットボードのグラウンドは**POD とは別に導線で常時接続**することをお勧めします。

また、製品の保証期間は一年間で、その期間内に正常な使用状況において故障した場合には修理は無償です。その期間を過ぎた場合には有償の修理となります。

ロイノスでは 1 年を超えた後でも、有料にて年間サポートを承っております。詳しくは弊社の web をご覧くださいか、あるいは営業までお問い合わせ下さい。

製品の構造上、JTAG コネクタの部分は強度が割と弱く、コネクタの挿抜の際にケーブルを引っ張るとコネクタ内部で接触不良が起き、CCS の動作が不安定となります。**かならず JTAG コネクタのシェルをつまみではずすようにしてください。**



(写真は Blackhawk560m ではございません)

AC アダプタについて

AC アダプタは必ず付属のものを使用して下さい。とくに、パソコン用など、5V を超える電圧を供給する AC アダプタを接続するとほぼ確実に機器を破損し、有償修理となりますのでご注意下さい。

4. 梱包内容

製品の箱の中に以下のものがあることをお確かめください。

(1) マニュアル 本書および英語のマニュアル

(2) エミュレータ本体と JTAG ケーブル

本体にすでにとりつけられています。1.27mm ピッチ 20 ピンの形態となっています。2.54mm ピッチの JTAG コネクタを採用したターゲットボードに接続するには付属のアダプタを使用してください。



(3) USB ケーブル

(4) TI 2.54mm ピッチ 14 ピン用アダプタ

従来から用いられてきた 2.54mm ピッチ 14 ピンのターゲットに接続するために JTAG ケーブルの先端に追加するものです。



(5) ARM 2.54mm ピッチ 20 ピン用アダプタ

ARM ピン配置のターゲットに接続するために JTAG ケーブルの先端に追加します。OMAP や DaVinci の ARM 部を CCS でデバッグできます。



(6) TI 60 ピントレースコネクタ用アダプタ

DaVinciテクノロジーなどのデバイスで用意されるトレース用のコネクタに変換するためのものです。



(7) AC アダプタと電源ケーブル

(8) ドライバ DVD (メーカー提供)



(9) ロイノス編集 CD

場合によってデバイスドライバの修正版などのファイルをご提供する場合があります。



2011年5月現在の最新のドライバが入っています。(CCS Ver4 用は CCS4 のインストールメディアに含まれています。)

